

## 鹿沼市 ICT 部門の業務継続計画〈概要版〉

### 1 計画の趣旨

- 鹿沼市が提供している行政サービスは、数多くの情報システムやネットワーク等の稼働が必要不可欠である。
- これらの情報システムは、あらかじめ対策を講じておかなければ、災害・事故の際に稼働や早期復旧が困難である。
- そこで、災害・事故時の重要業務の実施・継続を行い、ICT 部門の復旧体制や手順を整えることを目的に、鹿沼市「ICT 部門の業務継続計画」を策定する。

### 2 運用体制

- 「ICT 部門の業務継続計画」の運用にあたっては、鹿沼市 ICT 推進本部に設置される業務継続計画推進班において行う。
- 計画の見直しにあたっては、月次と年次見直しを行い、業務継続計画推進班長の承認のもと、計画を改定する。
- 緊急時には、鹿沼市災害対策本部の指揮に従い、緊急時対応体制のもと活動する。

### 3 被害想定

- 栃木県地域防災計画（2010）での被害想定および、東日本大震災での事例を踏まえ、「震度6強の地震」が発生した場合を想定した。

### 4 重要業務・システム

- 重要業務・システムについて、4つのクラスに分類し、それぞれ目標復旧時間を設定した（括弧内は目標復旧時間）。  
クラス S：安否確認に必要なシステム類（1日以内）  
クラス A：市民サービスに特に必要なシステム（2日以内）  
クラス B：内部事務に必要なシステム（5日以内）  
クラス C：出納系システム（7日以内）

### 5 緊急時対応計画

- 大規模な災害・事故が発生した場合には、緊急時対応体制のもと、「情報系システム・ネットワーク復旧グループ」、「基幹系システム復旧グループ」、「電話通信システム復旧グループ」、「独自システム業務主管課」にて復旧活動する。
- 各グループの役割、対応要員、参集基準等について定める。
- 緊急時における行動計画について、参集から復旧行動の実施までの手順を定める。
- 復旧行動の実施にあたっては、拠点となる庁舎の移動を踏まえ、システムの移設先を検討する。

### 6 平常時におけるリスク管理と評価

- 庁舎やシステムの現状についてまとめ、潜在しているリスクを検証する。
- 外部事業者との保守契約について整理を行う。

### 7 被害を受ける可能性と事前対策

- 現状の脆弱性と対策の実施計画、対策が未決定の問題点について、対策すべき内容を検討し、最小限必要な資源を整理する。